

見どころ案内

**ハナショウブ&
あじさいまつり開催中**
6月2日~24日までの土日

ヒメアジサイなど (アジサイ科)

日本庭園を中心に約 140 品種 2200 株のアジサイを植栽しています。また、うらら池周辺では新しいアジサイ園を各所で造成中。アジサイ展も今週からの開催です。

プルメリア

(キョウチクトウ科)

ハワイで首飾り(レイ)に使われる植物です。花には芳香があり、一年を通して開花します

アコウの落葉

(クワ科)

アコウは半常緑高木で年に数回落葉して葉を入れ替えます。床に落ちている白い帯状のものは苞葉(ほうよう)で、新芽を守る役割があります。実は幹に直接つく幹生果です。

カスケード花壇の植物

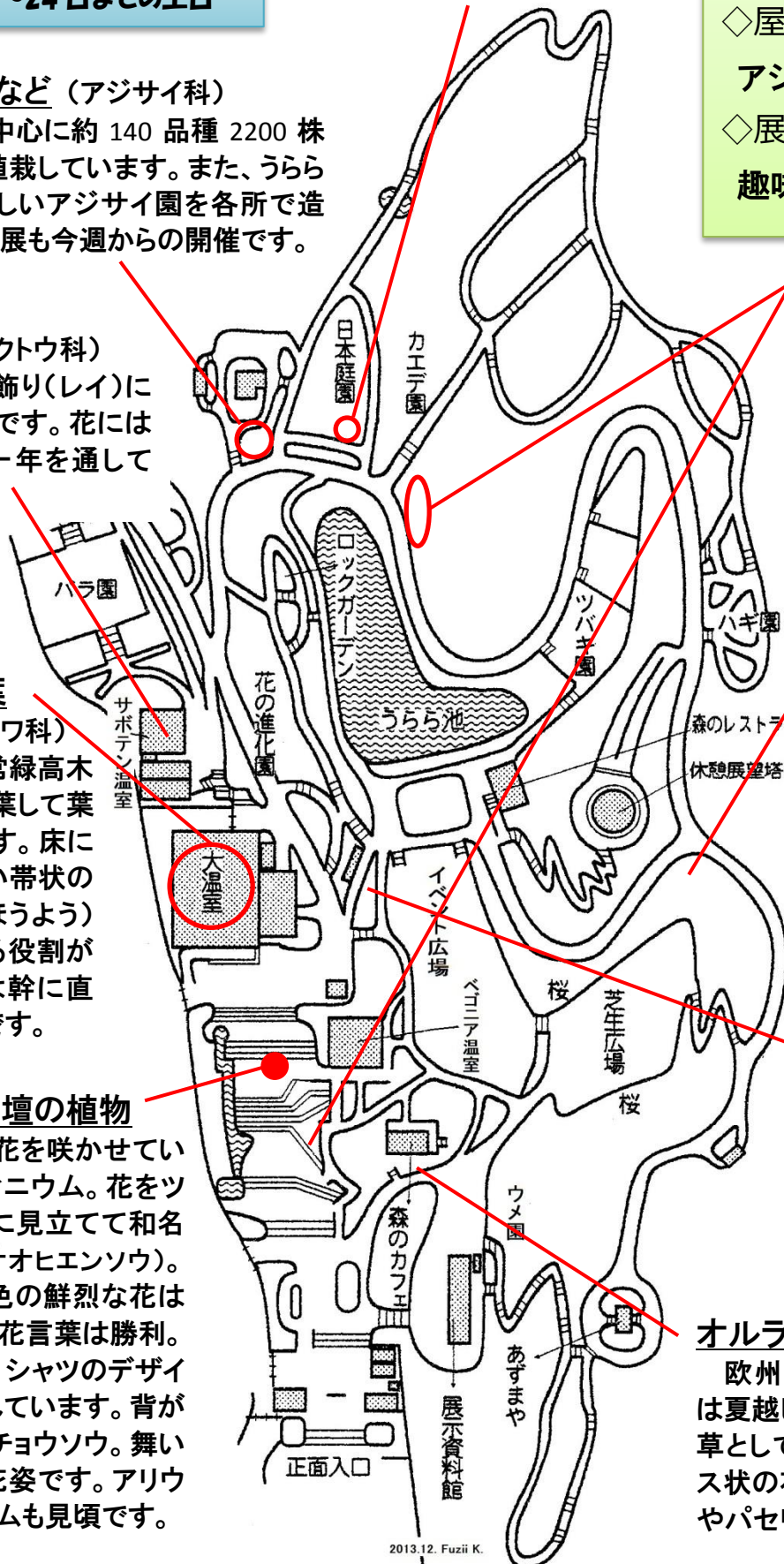
見事な穂状花を咲かせているのはデルフィニウム。花をツバメが飛ぶ姿に見立てて和名は大飛燕草(オオヒエンソウ)。オレンジや黄色の鮮烈な花はナスたちウム。花言葉は勝利。カープコラボTシャツのデザインにも採用されています。背が高い株はハクチョウソウ。舞い踊る蝶のような花姿です。アリウム・ギガンチウムも見頃です。

モリアオガエルの卵塊

らんかい
日本庭園フジ棚近くのカエデの枝に、夜産み付けられた泡に包まれた卵塊を観察できます。雨上がりの翌朝が狙い頃です！早くも見頃のハナショウブとあわせてどうぞ。

展示会のご案内

- ◇展示温室 (5/26~6/7)
- セントポーリアとイワタバコの仲間展
- ◇屋外展示場 (6/2~24)
- アジサイ展
- ◇展示資料館 (5/8~6/6)
- 趣味のボタニカルアート展



ブラシノキ (フトモモ科)

豪州を中心に分布する植物です。和名は花姿が洗瓶ブラシに似ていることから。赤色の部分は雄しべが長く伸びたもので、先端の黄色い葯(やく)が目立ちます。別名の金宝樹は花(雄しべ)の形態を宝石に見立てたものでしょう。

オランダボダイジュ

(シナノキ科)

淡い黄色の花が多数咲いています。寺院によく植えられています。お釈迦様が悟りを開いた菩提樹はクワ科の熱帯植物です。本物のインドボダイジュは大温室で御覧ください。

常緑ヤマボウシ

(ミズキ科)

白く花卉に見えるのは、苞葉(ほうよう)で葉が変化したもの。ヤマボウシやハナミズキと違い、冬に落葉しない常緑樹です。

オルラヤ (セリ科)

欧州原産の多年草です。日本では夏越しが難しいので秋蒔きの一年草として扱います。群植するとレース状の花がきれいです。ヘンルーダやパセリの花も咲いています。